

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月2日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。 ・令和4年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、計3回100日間の臨時休館や利用制限等を行ったことにより、利用者数が減少（前年度比74.1%）したものの、日々の施設管理においては、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでいるほか、制限がある中でも百歳体操など感染症対策を行った上で実施できる講座やレクレーションを実施することなどにより一日当たりの利用者数が増加（前年度比103.6%）していることは評価できる。 ・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。 	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	まきび荘では、地域の高齢者に対し、各種の相談に応じると	

	<p>ともに、学ぶ意欲に応じるための様々な講座の開講，併せて，創作を楽しむ場を提供しました。</p> <p>各種相談事業（健康相談・血圧測定・機能回復訓練等）では，看護師による指導・助言を行うとともに，百歳体操やさわやか体操を取り上げるなど利用者の健康維持に努めるとともに，教養の向上に関する事業では従来の既存の講座や高齢者にふさわしい独自の活動に取り組みました。</p> <p>次に，レクリエーション等の事業では，七夕会・クリスマス会等を開催し，利用者に季節や郷愁を感じてもらいました。</p> <p>また，老人クラブとの共同剪定作業，みその会との交流会を持つなど幅広い活動を行いました。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大によって5月14日から6月20日まで休館し，その後，8月20日から9月30日，1月24日から3月6日の合計3回100日間が休館となりました。また，密を避けるため参加人数を抑制，手指消毒やマスク着用の励行などの感染予防対策を行い，運営を行いました。</p> <p>コロナ禍の影響による休館や事業再開後の利用制限のほか，利用控えの傾向もある中で，延べ利用者数は減少していますが，開館日の1日あたりの来荘者数をみると，前年比103.6%と増加しています。</p> <p>今後は，少しでも多くの方々が明るく生きがいをもった生活が送れるよう，利用者のニーズに沿った事業やサービスの充実に努めてまいります。</p>
<p>(3) アンケート結果の概要</p>	<p>アンケート調査の結果，利用者の満足度は，施設全体は100%，職員対応は94%，施設の衛生管理は94%以上，安全対策は100%となった。よって，現在の指定管理者は，多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

3 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数			特記事項
	今年度	前年度		
	3, 840人	5, 179人		
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活, 住宅, 身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防, 治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>			

4 収支 (見込み)

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	18, 234千円	
	市からの指定管理料	18, 229千円	
	その他の収入	5千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	18, 371千円	
	主な支出	人件費	11, 700千円
		光熱水費	1, 578千円
		修繕料	297千円
		業務委託費	532千円
		その他	4, 264千円